



KABSE カブセとは…

Kyushu Association for Bridge and Structural Engineering

の略称で、土木構造に関する様々な問題を通して、産・官・学が協力し、関係学協会と連携しながら、会員の技術の向上、交流および若手技術者の育成を目的として学術的な活動をしている、土木関係者を中心とする技術者の一般社団法人です。

沿革

昭和 58年 11月	九州橋梁・構造工学研究会 設立
平成 5年 5月	設立10周年記念行事
10年 4月	専任事務局開設
15年 11月	設立20周年記念行事
21年 7月	一般社団法人化
25年 11月	設立30周年記念行事

歴代会長

昭和 58～61年度	九州大学教授	小坪 清真
61～平成元年度	熊本大学教授	三池 亮次
平成 2～5年度	九州工業大学教授	渡辺 明
6～7年度	北九州職業能力開発短期大学校長	堤 一
8～9年度	九州大学教授	太田 俊昭
10～11年度	九州大学教授	彦坂 熙
12～13年度	熊本大学教授	崎元 達郎
14～15年度	九州大学教授	松下 博通
16～17年度	九州共立大学教授	鳥野 清
18～19年度	九州工業大学教授	久保 喜延
20～21年度(6月迄)	九州大学教授	大塚 久哲

一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会設立後

21～22年度	九州大学教授	大塚 久哲
23～24年度	熊本大学教授	大津 政康
25～26年度	九州共立大学教授	牧角 龍憲
27～29年度	九州大学教授	日野 伸一
30～31年度	九州工業大学教授	永瀬 英生
令和 2～	九州大学教授	松田 泰治

入会のご案内

KABSEの会員は正会員(第1種:個人会員)、正会員(第2種:法人会員)、学生会員があり、どなたでも入会可能です。おかげさまで現在、規模、活動内容、情報、クオリティともに、大変充実しており、またこれからも皆様と共に発展させていく予定です。

入会金	無 料	
年会費	正会員(第1種:個人)	3千円
	正会員(第2種:法人)	3万円
	学生会員	無 料

入会特典

- KABSE会報、土木構造・材料論文集の無料配布(学生会員はHPで閲覧)
- 土木構造・材料論文集への原稿投稿
- 「研究分科会」のテーマ立ち上げ(主査、副査)(学生会員は対象外)
- 「研究分科会」への委員参加
- 「講習会」への参加費の割引適用
- 「技術発表会」への講演申込みおよび参加
- 「講演会」、「見学会」への参加
- 「新技術、新製品コーナー」への投稿

入会の申し込み方法

KABSEへの入会を希望される方は、KABSEホームページをご確認いただき、入会申込書を記入の上、事務局にご連絡ください。会費の納入については、入会申込み受理後に送付する入会登録通知書に従って、納入をお願いします。

KABSE 事務局

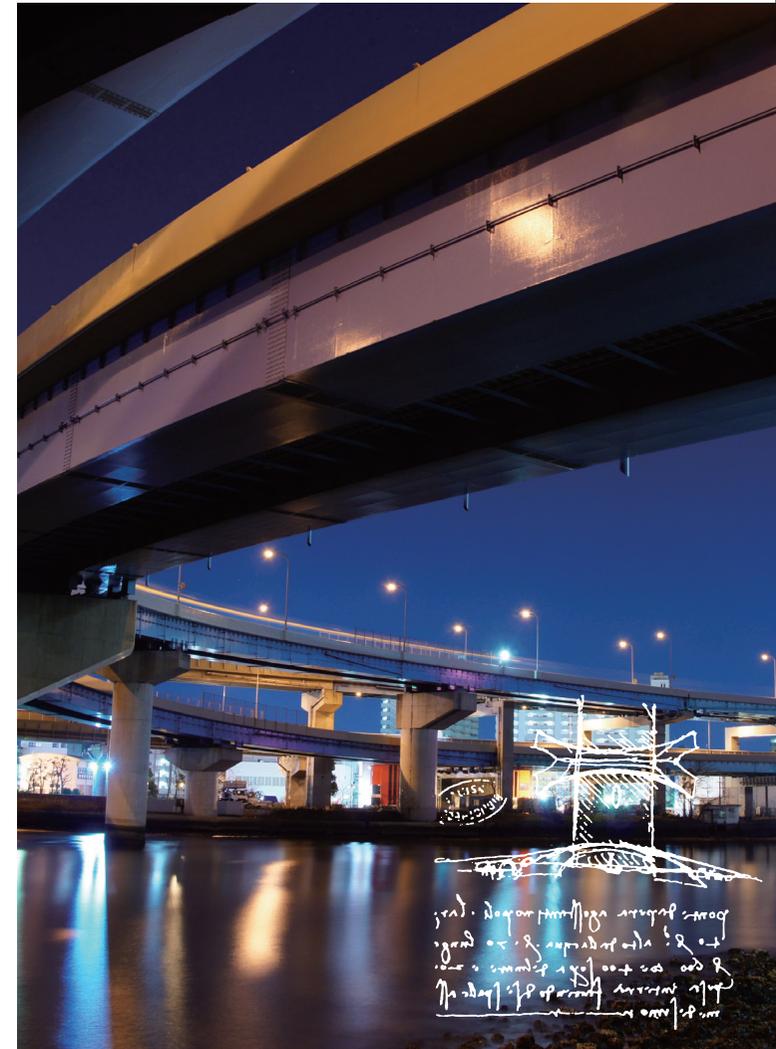
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通1-1-1
サンセルコビル6階(株)長大福岡支社内

TEL & FAX 092-737-8570
E-mail jim@kabse.com
http://www.kabse.com/

一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会

KABSE

KYUSHU ASSOCIATION FOR
BRIDGE AND STRUCTURAL
ENGINEERING



一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会

KABSEの主な活動

研究分科会

構造、耐震、材料等に関する内容を中心に、毎年数件の研究分科会を設置して、研究活動を実施しています。研究分科会では、各テーマ毎に産官学から20~30名程度の方が集まり、それぞれの立場にとらわれず、自由な雰囲気の中で活発に議論し、熱心に研究しています。また、成果については、講習会で公表するとともに報告書等を発刊することで広く公開しています。



最近の主な研究分科会のテーマ

- ◎ 離島架橋の維持管理技術に関する研究分科会
- ◎ 補修業務に関する課題解決と維持管理効率化に向けた研究分科会
- ◎ 既設トンネルの効果的補修補強工法の選定基準及び設計指標に関する研究分科会
- ◎ 既設道路橋の建設時における設計の再現手法に関する研究分科会
- ◎ 森林資源の木材利用における課題に関する研究分科会
- ◎ 無人航空機 (UAV) による橋梁撮影と点検に関する分科会
- ◎ インフラ維持管理・更新・マネジメントに関する新技術の社会実装支援に関する研究分科会 etc...

シンポジウムの開催

発表者を主にKABSE学生会員に限定し、橋梁工学、構造工学および関連分野の日頃の研究成果を取りまとめ、他研究機関の研究者との討議により、研究をさらに発展させることを目的としたシンポジウムを毎年12月に開催しています。



学生研修会の開催

九州圏内の学生同士の交流や学生と若手技術者の交流、さらには、国内外でご活躍されている技術者から働くことの意義や様々な技術について学ぶことを主な目的として、学生研修会を開催しています。(2006年から年1回のペースで開催しています。)



見学会の開催

プロジェクト現場において、現場での問題点や創意工夫、事業の在り方等を眼で見て、肌で感じることによって、技術力の向上や若手育成に向けた見学会を開催しています。

構造・材料論文集の発刊

土木構造・材料論文集は、実用的価値の高い投稿論文・報告、技術展望など、必見の内容ばかりが集められています。土木学会西部支部とタイアップして年1回発行しており、学術的にも高い評価をいただいています。



会報・書籍・報告書の発刊

会報は、新旧土木事情、進行中の工事紹介、海外レポート、事業・会務報告などを取りまとめ、年1回発行しています。また、研究分科会で調査研究した結果は、書籍や報告書として出版、公開されており、会員だけでなく広く国内外の技術者から好評を得ています。会員へは研究分科会の講習会テキストとしても案内されます。

受託事業

これまでに、点検・診断など維持管理に関する講習会や実習の開催依頼や相談が数多く寄せられていたことを踏まえ、運営委員会内



に新に受託事業小委員会を設置し、受託事業の企画・運営に関する活動を開始しました。